

---

# 貧乏の果てに

マ王

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

貧乏の果てに

### 【Nコード】

N1344L

### 【作者名】

魔王

### 【あらすじ】

貧乏な家に生まれたA君の夢は、ステーキをおなかいっぱい食べることであった……

**(前書き)**

この話は微グロです。  
苦手な方は引き返してください。

A君の家は貧乏だった。両親は共働きしていたがお互いに稼ぎは少なく、食べていくのもギリギリな生活。

そんなA君の夢はステーキをおなかいっぱい食べることに。だが肉自体、食べられるのは給食でだけ。A君の家に肉を買う余裕はなかった。

幼いA君に何とかステーキを食べさせてやりたいと日々働く両親であったが、働けど働けど貧しさは変わらず、ただただ心労がたまる一方であった。

ある日、仕事から帰ってきた父親が満面の笑みでこう言った。

「喜べ！今日はステーキだぞ！」

「え？ ホント！？ やったー！！！」

聞けば、同僚からもらってきたのだそう。

父親は善は急げとばかりにすぐにステーキを焼き、食卓に並べた。

「ねえ、パパ。ママは？」

「ママは残業。帰りは夜中になるって」

「ふーん。せっかくステーキなのに……」

「心配するな。ママの分もあるし、帰ってきたら食べるだろう。さあ、早く食べよう」

「はい。いただきます」

「ごちそうさまー」

「どうだ？ おいしかったか？」

「んー。学校で出るお肉とは全然違う味だけど、おいしかったよ」

「そうか。それは良かった。じゃあ、今日はもう寝なさい」

「はい」

翌日、一家は遺体となって発見された。

一家心中ではないかと思われているが、何故か母親の体の一部が切り取られていたそうだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1344/>

---

貧乏の果てに

2011年1月31日11時11分発行